

講演 5

薬剤師トレーニング用 DVD の作成と評価

長久保 久仁子

平成30年2月11日(日)シンポジウム
 薬剤師が担う医療機関と薬局間の連携手法とアウトカムの評価研究

薬剤師トレーニング用DVDの 作成と評価

株式会社メディカルファーマシー
 ミキ薬局日暮里店
 長久保 久仁子
 (日本臨床腫瘍薬学会地域連携委員)

本日の内容

- DVD作成の経緯
- 作成までのプロセス
- DVD(薬局編)上映
- DVDを寄贈した都道府県薬剤師会、
 病院薬剤師会へのアンケート調査結果
- まとめ

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)地域連携委員会として 保険薬剤師病院見学会(抗がん剤治療中心)開催 JASPOホームページと都道府県薬剤師会で募集

- 見学施設数:7施設
- 見学参加人数:33名

見学内容
 医療機関のがん治療の流れ
 調剤室、混注室、注射室、薬剤管理指導業務、抗がん剤のチェック体制
 検査値の管理方法、患者評価(体表面積・肝・腎機能)治療・投薬への活用の仕方
 院内でのがん患者への病歴薬剤師の介入
 化学療法患者への薬歴指導方法、患者指導用資料、副作用マネジメントの実態。



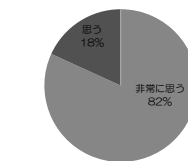
見学施設	参加人数
国立がん研究センター東病院	10
国立がん研究センター中央病院	8
東京医療センター	5
東邦大学医療センター大橋病院	4
神戸大学医学部付属病院	3
愛知県がんセンター中央病院	2
北海道がんセンター	1

病院見学会アンケート調査

JASPO2016 ポスター発表 3月13日ポスター会場d 2Pd 235
 「アンケート調査による保険薬局薬剤師の病院見学会に対する有用性の評価」
 東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部 日浦 寿美子

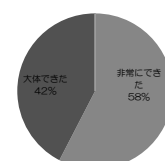
アンケート回収率:見学时100%(33名)
 3か月後63.6%(21名)

がん患者への介入や薬歴連携を進めるう
 えて見学会に参加することは有用だと思
 いましたか?



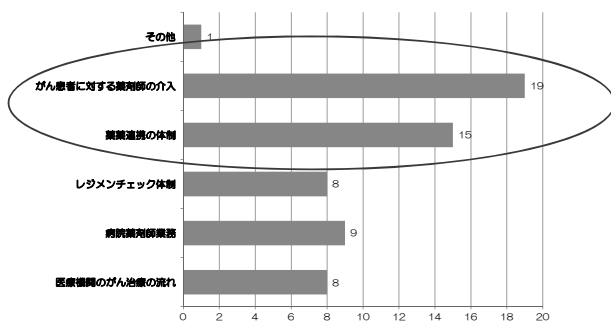
■非常に思う
 ■どちらともいえない
 ■思わない

病院を見学してがん治療における病
 院薬剤師の役割を知ることができま
 したか?



■非常にできた
 ■大体できた
 ■どちらともいえない
 ■できなかった

保険薬局薬剤師の役割を果たすうえで見学しておくべき一番重要な項目は何だと思 いましたか?(複数回答)



見学施設の負担も大きい
 事務的業務が半端ない・・・
 多くの見学を実現させるのは
 無理・・・
 患者さんの治療に貢献!

沈黙



DVDを作成して
 みてはどうか。
 みんなが見れるし

はっ...

そうだ、そうだ

そうしよう、
 そうしよう!

委員会中

DVD作成のプロセス

業務内容の相互理解

連携の必要性をアピール

DVD(業務紹介編)

CHAPTER	TITLE	START TIME	END TIME
1	はじめに	00:00	00:15
2	がんの治療について	00:15	01:30
3	病院薬剤師の業務紹介	01:30	02:45
4	薬局薬剤師の業務紹介	02:45	04:00
5	おわりに	04:00	04:15

病院薬剤師
薬局薬剤師
の業務紹介

DVD(薬局編)

CHAPTER	TITLE	START TIME	END TIME
1	はじめに	00:00	00:15
2	がん薬処方箋持参患者が薬局時をドラマ化(あえて最悪の事態を再現)	00:15	01:30
3	おわりに	01:30	01:45

がん薬処方箋持参患者
が薬局時をドラマ化
(あえて最悪の事態を再現)

薬局編を上映します

DVDの評価

- 日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)主催の学術大会やセミナーで上映
- 地域医療連携委員会主催のセミナーにて上映しアンケート調査
- 全国の都道府県薬剤師会、病院薬剤師会へDVDを寄贈しアンケート調査

DVDに関するアンケート調査

全国薬剤師会・病院薬剤師会

都道府県薬剤師会 会長 様

抗がん薬治療の薬害減速に関するDVDについてのアンケートのお問い合わせ

医薬分業が普及し、がん薬害減速における抗がん薬や支持療法薬が指定された処方箋が実行され、薬病において薬害発生する機会が多くなっていますが、医療機関と薬局の連携がまだ十分とは言えません。プロトコルに基づく薬物治療管理（PPEM）を活用することが医療機関と薬局の連携にも効果的な仕組みと考えています。そこで研究費としてPPEMをがん薬害減速に適用するための標準手順を確立し、その効果を検証するとともに人材育成を目指しています。

前年度には医療機関と薬局の相互の理解を深める目的で「抗がん薬治療の薬害減速に関するDVD」を作成し、貴会へお送りさせていただきました。今年度はPPEMに基づいた薬病によるテレフォンフォローアップの実施を行うとともに、取組まされていたDVDの活用について調査することといたしました。

本調査は、昨年度の厚生労働省薬害調査事業として引き続き実施しています。本調査への御回答をご提供いただきご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 28 年度厚生労働省薬害調査事業推進委員会
「薬剤師が担う医療機関と薬局間の連携手続の検討とアウトカムの評価研究」 研究代表者 安塚 眞人

調査担当： 長久保 久仁子（ミキ薬局 日暮路店）
e-mail: nagakubo133@nishi.nag.jp

◎ 以下の質問で使用するものを横線または影線してください。

問1 貴会について教えてください。
薬剤師会

問2 がん治療の地域医療連携（薬害減速）推進会議のDVDを貴会の中で視聴しましたか。
1. 視聴した → 問2-1～お答え下さい。
2. 視聴していない → 問3へお答え下さい。

問2-1 視聴した感想を教えてください。
1. 非常に参考になった
2. やや参考になった
3. 参考になった
4. あまり参考にならなかった
5. その他

問2-2 業務紹介編、薬局編、業務紹介編・薬局編ともに、どちらが参考になりましたか。
1. 業務紹介編
2. 薬局編
3. 業務紹介編・薬局編ともに
4. どちらも参考にならなかった

問3 貴会として、このDVDをどのように活用予定ですか。
1. 会員へ貸し出しを行い視聴した。
2. 勉強会やセミナーなどで上映した。
3. HPなどに掲載し、視聴出来る様にした。
4. その他
5. 活用する予定はない。

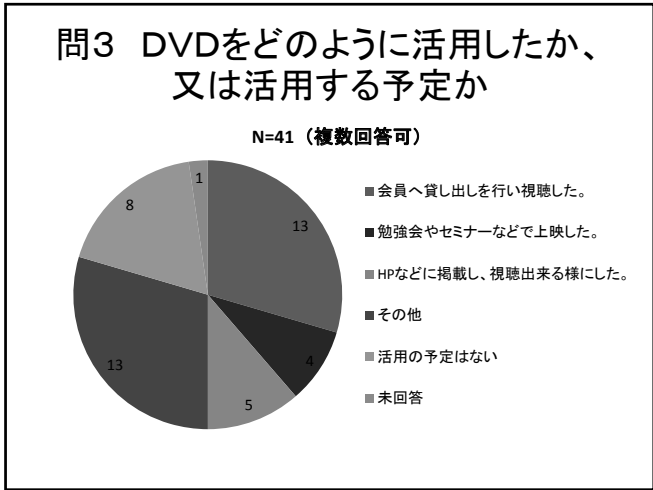
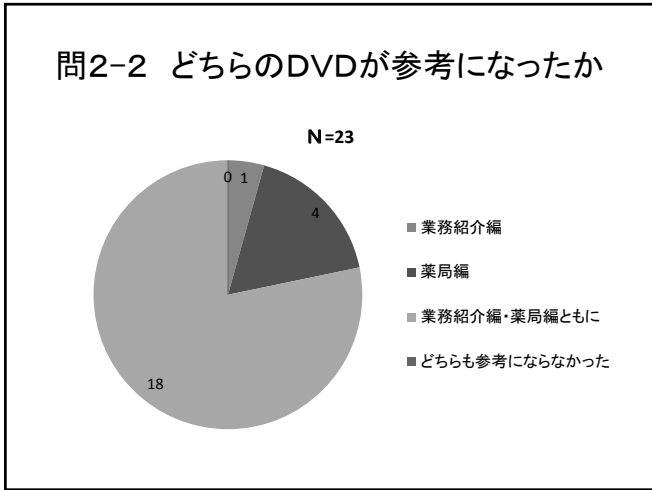
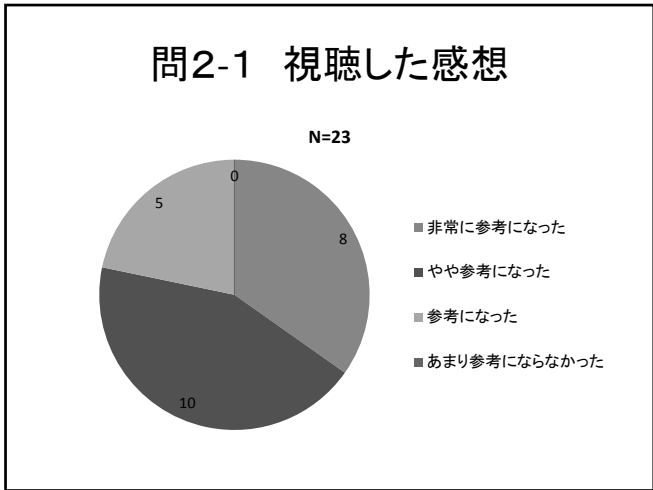
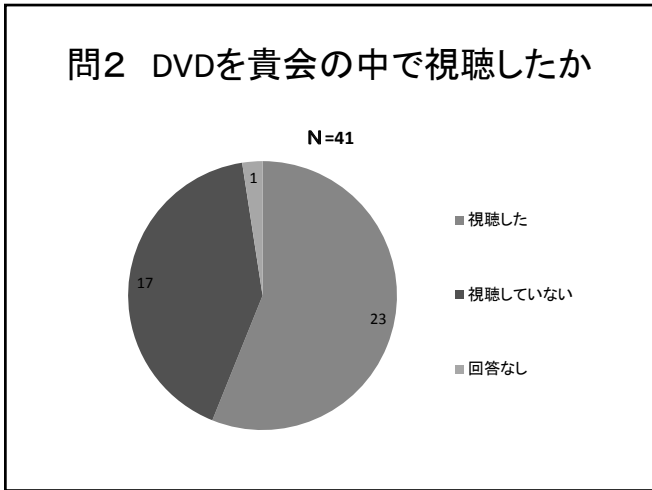
問4 本DVDを各地域で活用することは、薬害減速の推進に役立つと思いますか。
1. とても思う
2. 少し思う

問5 貴会は薬害減速の推進を目的とした勉強会やセミナーを開催を行っていますか。
1. 定期的に行っている。開催頻度（記載例：1年に1回） → 問6へお答えください。
2. あまり行っていない。 → 問6へお答え下さい。
3. まったく行っていない。 → 問6へお答え下さい。

問6 貴会やセミナーを開催していない理由を教えてください。

47都道府県薬剤師会・病院薬剤師会へ依頼 → 41件の回答あり

以上、ご協力ありがとうございました。



問3 その他回答

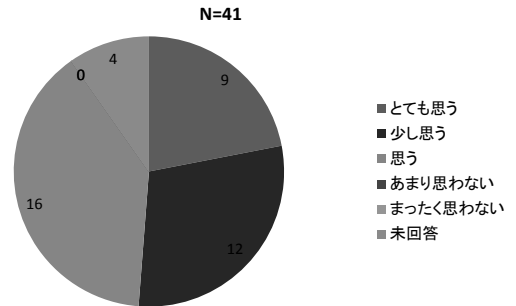
【薬剤師会】

- ・ 役員が視聴
- ・ 活用法について今後検討する
- ・ 担当する委員会で検討する
- ・ 研修会等で上映する等検討したい
- ・ 県薬剤師会の薬業連携推進委員会のメンバーで視聴した後に活用を検討したい
- ・ 今後検討する

【病院薬剤師会】

- ・ 病院及び開局薬剤師とDVDを視聴しディスカッションを行う予定
- ・ 特に考えていませんでした。これから委員会と相談、検討してみます。
- ・ 今後理事会等で対応を検討して行きます。
- ・ 県病薬と県薬の合同のシンポジウムで上映し、お互いの業務上の問題点解決のための導入として用いた
- ・ 部会で検討中
- ・ 理事会に報告し、活用方法を検討します。
- ・ 活用に関しては未定

問4 DVDを各地域で活用は、薬-薬連携の推進に役立か。



まとめ

- ・ 相互の業務内容を理解し、連携を考えるツールとして有効である。
- ・ 活用に関しては47都道府県の薬剤師会、病院薬剤師会から41件回答があり全て肯定的な回答であった。
- ・ 今後の課題として、本研究内容である電話フォローとトレーシングレポートの活用例をDVD化することも検討したい。

ご清聴ありがとうございました

